

あなたの名前は「命の書」に記されていますか

「エホバを畏れる人……のために、神の前で記録の書が記された」。[マラキ 3:16](#) その時、エホバを畏れる人たちが仲間と語り合っていた。エホバはじっと耳を傾けていた。エホバを畏れる人と神の名について思い巡らす(*考える/if を大切にする)人のために、神の前で記録の書(*覚えておくための書)が記された

[61 番の歌](#) 証人たちよ、進め！

何を学ぶか*この記事では、[ヨハネ 5 章 28, 29 節](#)にあるイエスの言葉に関する理解の調整を取り上げます。

そこには、「命の復活」と「裁きの復活」のことが述べられています。

それぞれの復活は何を表しているか、それぞれには誰が関係しているのかを考えます。



アベルの時代以降、エホバは「命の書」に名前を書き加えてきた。（1-2 節を参照。）

1. [マラキ 3 章 16 節](#)によると、エホバはどんな書を記してきましたか。そこには何が書かれていますか。

エホバは、何千年にもわたって特別な書を記してきました。この書には、最初の忠実な証人アベルを先頭に、大勢の人たちの名前が記されています。*この書が書き始められたのは、「世が始まっ[た]」時です。この「世」とは、罪から買い戻される人々の世のことです。（[マタ 25:34](#) それから王は、右にいる人たちに言います。『さあ、私の父に祝福された人たち、世が始まって以来あなたたちのために用意されている王国を受けなさい。[啓 17:8](#) あなたが見た野獸はかつていましたが、今はいません。しかし底知れぬ深みから上ろうとしており、やがて滅びることになります。地上に住む人々、世が始まって以来、命の巻物に名前が書かれていない人々は、野獸がかつてはいたものの今はおらず、後に現れるのを見る時、驚きます）ですから、命の書に最初に名前が記されたのは、アベルだと考えられます。（[ルカ 11:50, 51](#) こうして、この世代は、世が始まって以来流された全ての預言者の血の責任を問われる(*血を要求される)。51 アベルの血から、祭壇と神の家の間で殺されたゼカリヤの血に至るまで』。そうです、あなた方に言いますが、この世代が責任を問われる(*に要求される)のです）その時以降、エホバはこの書に名前を書き加えてきました。現在では、非常に大勢の人たちの名前が記されていま

す。聖書はこの書のことを、「記録の書」、「命の書」、「命の巻物」と呼んでいます。この記事では、そのうちの「命の書」という表現を用います。（マラキ 3:16 その時、エホバを畏れる人たちが仲間と語り合っていた。エホバはじっと耳を傾けていた。エホバを畏れる人と神の名について思い巡らす(*考える /if を大切にする)人のために、神の前で記録の書(*覚えておくための書)が記されたを読む。啓 3:5 征服する人は、そのようにして白い衣服を着ることになります。私はその人の名前を命の書から決して消さず(*拭い去らず)、私の父と天使たちの前でその人の名を認めます。17:8 あなたが見た野獸はかつていましたが、今はいません。しかし底知れぬ深みから上ろうとしており、やがて滅びることになります。地上に住む人々、世が始まって以来、命の巻物に名前が書かれていなかつてはいたものの今はおらず、後に現れるのを見る時、驚きます）

2. 命の書には、誰の名前が記されていますか。私たちはどうすればその書に名前を記してもらうことができますか。

2 この特別な書に名前が記されているのは、深い敬意を持ってエホバを崇拝し、エホバのお名前を大切にしている人たちです。それらの人たちには、永遠に生きる見込みがあります。現代の私たちも、独り子イエス・キリストの贖いに基づくエホバとの強い絆を持っているなら、この書に名前を記してもらうことができます。（ヨハ 3:16 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました。36 子に信仰を抱く人は永遠の命を受ける。子に従わない人は命を得ず、神の憤りがその人の上にとどまる）私たちは皆、天に行く希望を持っていても地上で生きる希望を持っていても、ぜひ自分の名前をこの書に記してもらいたいと思っています。

3-4. (ア) いま命の書に名前が記されていれば、永遠の命を得られるということですか。(イ) この記事と次の記事ではどんなことを考えますか。

3 では、命の書に名前が記されている人は永遠の命を保証されている、ということでしょうか。出エジプト記 32 章 33 節しかしエホバはモーセに言った。「私に罪を犯した人の名前を私の書から消し去るから答えを知ることができます。エホバはモーセに対してこう言いました。「私に罪を犯した人の名前を私の書から消し去る」。ですから、この書に記されている名前は消し去られる可能性があるということです。それは、鉛筆で書かれているようなものです。（啓 3:5 征服する人は、そのようにして白い衣服を着ることになります。私はその人の名前を命の書から決して消さず(*拭い去らず)、私の父と天使たちの前でその人の名を認めます）それで私たちは、自分の名前が消し去られてしまわないように努力する必要があります。そうすればやがて、いわばインクで消えないように書いてもらえる時が来ます。

4 幾つかの疑問が生じるかもしれません。聖書によると、①命の書に名前が記されているのはどんな人で、記されていないのはどんな人でしょうか。②その書に名前が記されている人が永遠の命を受けるのはいつでしょうか。③生きている間にエホバを知る機会がなかった人についてはどうですか。そのような人も、命の書に名前を記してもらうことができるでしょうか。こうした点の答えについて、この記事と次の記事で考えます。

どんな人の名前が命の書に記されているか

5-6. (ア) [フィリピ 4章3節](#)からすると、命の書にはどんな人の名前が記されていますか。 (イ) その人たちの名前が命の書にいわばインクで記されるのはいつですか。

5 どんな人の名前が命の書に記されていますか。この質問の答えを知るために、5つのグループについて考えましょう。命の書に名前が記されている人たちのグループもあれば、そうでない人たちのグループもあります。

6 1つ目のグループは、[イエスと共に天で治めるよう選ばれた人たち](#)です。この人たちの名前は、命の書に記されていますか。はい。パウロがフィリピの「仲間たち」に述べた言葉から分かる通り、天に行く人たち、つまりイエスと共に治める人たちの名前は、[命の書に記されています](#)。（[フィリピ 4:3](#) 共に忠実に働く仲間であるあなた(特定の兄弟のことと思われる)にもお願ひします。この女性たちを今後も援助してください。2人は、クレメンスやほかの仲間たちと一緒に、良い知らせを広めるために私と肩を並べて一生懸命働いて(*苦闘して)きました。こうした人たちの名前は命の書に記されていますを読む。）でも、この書から名前が消されないためには、忠実であり続けなければなりません。死ぬ前、あるいは大患難が始まる前に最終的な証印を押されたなら、彼らの名前はいわばインクで命の書に書かれ、その名前が消されることはありません。（[啓 7:3](#) こう言った。「私たちが、私たちの神の奴隸たちの額に証印を押すまでは、陸地も海も木も損なってはなりません」）

7. [啓示 7章 16, 17節](#)からすると、ほかの羊の大群衆が命の書にいわばインクで名前を記されるのはいつですか。

7 2つ目のグループは、[ほかの羊の大群衆](#)です。この人たちの名前は、命の書に記されていますか。はい。では、[ハルマゲドンを生き残った後も消えずに残っているでしょうか](#)。はい、残っています。（[啓 7:14](#) それで私がすぐその長老に、「それはあなたが知っておられます」と言うと、彼は私に言った。「これは大患難から出てくる人たちです。この人たちは、[自分の長い衣服を子羊の血で洗って白くしました](#)」）イエスは、これらの羊のような人たちが「[永遠の命](#)」を受けると言いました。（[マタ 25:46](#) この人たちは永遠の死を迎える、正しい人たちは永遠の命を受けます）とはいって、[ハルマゲドンを生き残った人たちは、すぐに永遠の命を受けるわけではありません](#)。命の書に鉛筆で名前を記されているような状態です。千年統治の間に、イエスは「[この人たちを世話し、命の水の泉に導く](#)」きます。キリストの指導に喜んで従い、エホバに忠実であると最終的に認められた人たちは、名前をいわばインクで命の書に記されることになります。（[啓示 7:16, 17](#) この人たちはもはや飢えることも喉が渴くこともなく、照り付ける太陽の熱や焼け付くような暑さに襲われることもありません。17 王座の前(*真ん中)にいる子羊が、この人たちを世話し(*の牧者となり)、[命の水の泉に導く](#)からです。また、神はこの人たちの目から全ての涙を拭い去られますを読む。）

8. どんな人たちの名前は、[命の書に記されていませんか](#)。それらの人たちはどうなりますか。

8 3つ目のグループは、[ハルマゲドンで滅ぼされるヤギ](#)です。この人たちの名前は、命の書に記されていません。イエスによると、この人たちは「[永遠の死を迎える](#)」ます。（[マタ 25:46](#) この人たちは永遠の死を迎える、正しい人たちは永遠の命を受けます）パウロも聖なる力に導かれて、「こうした人々は、[永遠の滅びという処罰を受け\[る\]](#)」と述べています。（[テサニ 1:9](#) こうした人々は、[永遠の滅びという処罰を受け、主の前から退けられ、主の偉大な力から切り離されます](#)。[ペテニ 2:9](#) ですからエホバ(*)は、神へ

の専心を示す人々をどのように試練から救い出すかを知っています。また、正しくない人々を処罰の日にどのように確実に滅ぼすかも知っています) 聖なる力に対してあえて罪を犯した人たちについても、同じことが言えます。それらの人たちも、永遠の命ではなく、永遠の滅びという処罰を受けます。そして、復活することはありません。 (マタ 12:32 聖なる力に逆らう事を語る人は許されません。今の体制でも、将来的の体制でも。マル 3:28, 29 人は、どんな罪を犯し、どんな冒瀆の言葉を発しても、全て許されます。29 ただし、聖なる力を冒瀆する人は永久に許されず、永遠の罪を負う。ヘブ 6:4-6 次のような人たちもいます。一度啓発を受け、天からの無償の贈り物を味わい(*経験し)、聖なる力を与えられ、5 神の良い言葉とこれから来る体制(*時代)の力とを味わいながら、6 それでも離れていた人たちです。そういう人たちを再び悔い改めに導くことは不可能です。彼らは神の子を自分たちでもう一度杭にくぎ付けにし、さらし者にしているからです) では次に、地上に復活してくる2つのグループについて考えてみましょう。

復活してくる人たち

9. 使徒24章15節によると、どんな2つのグループの人たちが地上に復活してきますか。その2つのグループにはどんな違いがありますか。

9 聖書には、復活して地上で永遠に生きる見込みがある2つのグループについて述べられています。 「正しい人」と「正しくない人」です。 (使徒24:15 また、私はこの方たちと同じ希望を持っております。神が正しい人も正しくない人も復活させてくださるという希望ですを読む。) 「正しい人」とは、生きている間エホバに忠実だった人たちのことです。一方、「正しくない人」とは、エホバに忠実ではなかった人たちです。それらの人たちの多くは、エホバから見て正しくないことを行っていたことでしょう。では、これらの2つのグループの人たちがどちらも復活してくるということは、それらの人たちの名前が命の書に記されているということでしょうか。順番に考えていきましょう。

10. 「正しい人」が復活してくるのはなぜですか。一部の人たちはどんな責任を委ねられますか。 (この号に掲載されている、地上への復活に関する「読者からの質問」も参照。)

10 4つ目のグループは、「正しい人」です。これらの人たちは、生きていた時に命の書に名前を記されていました。では、死んだ時にその名前は消されてしまったのでしょうか。いいえ、そんなことはありません。それらの人たちは、エホバの記憶の中で「生きている」からです。エホバは「死んだ人の神ではなく、生きている人の神です。彼らは皆、神にとって生きているのです」。 (←ルカ20:38) ですから、地上に復活してくる正しい人の名前は、いわば鉛筆で命の書に記されています。 (ルカ14:14 そうするなら幸せです。その人たちにはあなたに報いるものが何もないからです。あなたは、正しい人たちが復活する時に報われます) そして、一部の人たちは「全世界で高官」として奉仕する責任を委ねられるでしょう。 (詩45:16 あなたの子たちは父祖たちに取って代わる。あなたは彼らを全世界で高官に任命する)

11. 「正しくない人」は、命の書に名前を書いてもらうために、どんなことをする必要がありますか。

11 5つ目のグループは、「正しくない人」です。これらの人たちは、恐らくエホバのおきてを知らなかつたために、正しくない生き方をしていました。それで、命の書に名前を記されてはいません。でも、エホバはこれらの人たちを復活させます。その結果、復活した「正しくない人」には、命の書に名前を書いてもらうチャンスが与えられます。それの人たちにはたくさんの助けが必要です。中には、非常に悪いことを行っていた人もいるでしょう。ですから、エホバの正しい基準に従つて生きることについて教えてもらう必要があります。それで、神の王国は史上最大の教育プログラムを行います。

「命の書」にはどんな人の名前が記されているか（○内の数字はこの記事のグループNo.）
記されている

①天に行くよう選ばれた者たち。天でイエスと共に統治する。

④「正しい人」。死に至るまでエホバに忠実だった人たち。地上に復活してくる。

②ほかの羊の大群衆。現在エホバに仕えていて、地上で生きる希望を持っている人たち。
記されていない

③ヤギ。エホバを退ける邪悪な人たちや、聖なる力に対してあえて罪を犯す人たち。ハルマゲドンで滅ぼされる。

⑤「正しくない人」。エホバに忠実ではなかったものの、地上に復活してくる人たち。命の書に名前を書いてもらうチャンスが与えられる。

12. (ア) 誰が正しくない人を教えますか。 (イ) 教えられたことを実践しようとしない人たちは、どうなりますか。

12 誰が正しくない人を教えるのでしょうか。(ア)大群衆と、復活してきた正しい人です。正しくない人は命の書に名前を書いてもらうために、エホバと親しくなり、エホバに献身する必要があります。イエス・キリストや、イエスと共に裁く者たちは、こうした人たちの進歩に深い関心を抱いています。(啓20:4)また私は、多くの座を見た。それらに座っている者たちは、裁く権威を与えられた。私が見たのは、イエスについて証言し、神について語ったために処刑(d*おので処刑)された者たち(ギ語プシュケ)だった。野獸も野獸の像も崇拜せず、額と手に印を受けなかった者たちである。彼らは生き返り、1000年の間キリストと共に王として治めた) (イ)とはい、与えられる助けをはねつけるなら、たとえ100歳であったとしても滅ぼされることになります。(イザ65:20)そこには、数日しか生きない乳児も、寿命を全うしない老人もいなくなる。罪人は100歳であっても災いを受け(if*100歳に達しない者は災いを受けたと見なされ)、100歳で死んだ者も少年と見なされるのである) エホバとイエスは、人の心を読むことができます。そして、誰かが新しい世界の平和や美しさを損なうようなことを決して許しません。(イザ11:9)私の聖なる山のどこにも、荒らしたり危害を加えたりするものはいない。水が海を覆っているように、エホバについての知識が必ず地上に満ちるからである; 60:18誰もあなたの土地で暴力を耳にしなくなり、あなたの境界内で破滅や滅びについて聞かなくなる。あなたは自分の城壁を『救い』と呼び、自分の門を『賛美』と呼ぶ; 65:25オオカミと子羊が一緒に食べ、ライオンは雄牛のようにわらを食べる。蛇は土を食物とする。これらは私の聖なる山のどこにおいても、荒らしたり危害を加えたりしない」と、エホバは言う。ヨハ2:25…人間の心に何があるかを知っていたのである)

命の復活と裁きの復活

13-14. (ア) これまで私たちは、ヨハネ5章29節にあるイエスの言葉をどのように理解していましたか。 (イ) この聖句のどんな点に注目する必要がありますか。

13 イエスも、地上に復活してくる人たちについて教えました。ある時、こう言いました。「記念の墓の中にいる人が皆、彼の声を聞いて出てくる時が来るのです。良いことをした人は命の復活へ、悪いことを行った人は裁きの復活へと出てきます」。 (←ヨハ5:28, 29) これはどういう意味でしょうか。

14 私たちはこれまで、この聖句は人が復活した後に行うことについて述べている、と理解していました。つまり、復活した人の中には、良いことをする人もいれば、悪いことを行う人もいる、と考えていました。でもイエスは、記念の墓から出てくる人が良いことをするとか、悪いことを行うとは言いませんでした。過去形を使い、「良いことをした」、「悪いことを行った」と述べています。ですから、これらの行いは、死ぬ前のものであることが分かります。確かにその通りではないでしょうか。新しい世界では、悪いことを行なうことは誰にも許されないからです。それで、正しくない人が悪いことを行ったのは、死ぬ前であるに違いありません。では、イエスが述べた「命の復活」や「裁きの復活」という言葉には、どんな意味があるのでしょうか。

15. 「命の復活」を経験するのはどんな人ですか。なぜそう言えますか。

15 死ぬ前に良いことをした正しい人は、「命の復活」を経験します。それらの人たちの名前は、命の書にすでに記されているからです。つまり、ヨハネ5章29節に出てくる「良いことをした人」の復活と、使徒24章15節に出てくる「正しい人」の復活は、同じものを指しているということです。この理解は、ローマ6章7節の次の言葉と調和しています。「死んだ人は自分の罪から放免されている」。正しい人が犯した罪は、その人が死んだ時に帳消しにされますが、その人が忠実に歩んだ記録は、消されずに残ります。 (ヘブ6:10 神は不公正な方ではないので、そうした働きや愛を忘れたりはされません) とはいって、復活した正しい人は、命の書から名前を消されないようにするために、忠実を保つ必要があります。

16. 「裁きの復活」という表現にはどんな意味がありますか。

16 死ぬ前に悪いことを行った人たちについてはどうでしょうか。その人たちも、死によって罪は帳消しにされています。とはいって、エホバに忠実ではなかったので、命の書に名前が記されていません。それで、「悪いことを行った人」の復活と、使徒24章15節に出てくる「正しくない人」の復活は、同じものを表しています。そして、この復活は「裁きの復活」となります。*これまで私たちは、ここで用いられている「裁き」という言葉が、処罰や有罪判決を表していると理解していました。確かに、「裁き」という言葉はそうした意味で使われることもあります。とはいって、この文脈でイエスは「裁き」という言葉をもっと広い意味で使っていたようです。つまり、評価や観察を行うこと、あるいは、あるギリシャ語の辞典が述べているように、「行いを精査すること」という意味で述べていたと思われます。正しくない人は、命の書に名前を記されるのにふさわしいかどうかを判断される、という意味で裁かれるのです。 (ルカ22:30 あなたたちが私の王国で私と一緒に食卓に着いて食べたり飲んだりし、王座に座ってイスラエルの12部族

を裁くようにします) これには時間がかかります。正しくない人は、以前の良くない生き方をやめ、エホバに献身して初めて、命の書に名前を書いてもらうことができます。

17-18. 地上に復活してくる人たちは皆、どんなことを行う必要がありますか。啓示 20 章 12, 13 節で述べられている「行い」とは何のことですか。

17 以前に「正しい人」だったか「正しくない人」だったかに関わらず、復活してくる人は皆、千年統治の間に開かれる新しい卷物に書かれているおきてに従う必要があります。使徒ヨハネは、幻の中で見たことについてこう述べました。「さらに見ると、死んだ人々が、大きな者も小さな者も、王座の前に立っており、数々の卷物が開かれた。別の卷物、すなわち命の卷物も開かれた。死んだ人々は、数々の卷物に書かれている事柄に基づき、各自の行いに応じて裁かれた」。(啓 20:12, 13 死んだ人々が、大きな者も小さな者も、王座の前に立っており、数々の卷物が開かれた。別の卷物、すなわち命の卷物も開かれた。死んだ人々は、数々の卷物に書かれている事柄に基づき、各自の行いに応じて裁かれた。13 海はその中の死者を出し、死と墓(*ギ語ハデス)もその中の死者を出し、その人々は各自の行いに応じて裁かれた)

18 生き返ってくる人たちは、どんな「行い」に基づいて裁かれるのでしょうか。死ぬ前の行いでしょうか。そうではありません。その人たちの罪は死によって帳消しにされているからです。それで、ここで述べられている「各自の行い」が死ぬ前の行いであるはずはありません。そうではなく、新しい世界で与えられる教育に応じてどう行動するか、ということです。ノア、サムエル、ダビデ、ダニエルといった忠実な人たちでさえ、イエス・キリストについて学び、イエスの犠牲に信仰を抱く必要があります。そうであれば、正しくない人はなおのことそうではないでしょうか。

19. この素晴らしいチャンスを退ける人はどうなりますか。

19 この素晴らしいチャンスを退ける人はどうなるのでしょうか。啓示 20 章 15 節にはこうあります。「命の書に名前が書かれていない者は皆、火の湖に投げ込まれた」。つまり、永遠に滅ぼされることになるのです。ですから、命の書に名前が記されるようにし、それが消されないようにするのは、本当に重要なことです。



1人の兄弟が、千年統治の間に行われる大規模な教育プログラムで教えている。(20 節を参照。)

20. 千年統治の間には、わくわくするどんなことが行われていきますか。（表紙の絵を参照。）

20 千年統治は、本当にわくわくするような時となるでしょう。その時、地上で史上最大規模の教育プログラムが行われます。そして、正しい人も正しくない人も、エホバの統治に喜んで従うかどうかを試されることになります。（[イザ 26:9](#) 夜に、私はあなたを慕う気持ちでいっぱいになります。心からあなたを探し求めます。あなたが世界を裁く時、地上の住民は正しさについて学びます。[使徒 17:31](#)）では、この教育プログラムはどのようにして行われていくのでしょうか。次の記事を学ぶと、この点についての理解と感謝を深めることができるでしょう。

どのように答えますか

1. 「命の書」にはどんな人の名前が記されていますか。 (S11 後の囲み。○内の数字はこの記事のグループ No.)
(記されている)

- ①天に行くよう選ばれた者たち。天でイエスと共に統治する。
- ④「正しい人」。死に至るまでエホバに忠実だった人たち。地上に復活してくる。
- ②ほかの羊の大群衆。現在エホバに仕えていて、地上で生きる希望を持っている人たち。
(記されていない)
- ③ヤキ。エホバを退ける邪悪な人たちや、聖なる力に対してあえて罪を犯す人たち。ハルマゲドンで滅ぼされる。⑤「正しくない人」。エホバに忠実ではなかったものの、地上に復活してくる人たち。命の書に名前を書いてもらうチャンスが与えられる。

2. 「命の復活」とは何ですか。

・S15 死ぬ前に良いことをして名前を命の書にすでに記されている正しい人が経験する「復活」。ヨハネ 5 章 29 節に出てくる「良いことをした人」の復活と、使徒 24 章 15 節に出てくる「正しい人」の復活は、同じものを指しているということです。この理解は、ローマ 6 章 7 節の次の言葉と調和しています。「死んだ人は自分の罪から放免されている」。正しい人が犯した罪は、その人が死んだ時に帳消しにされますが、その人が忠実に歩んだ記録は、消されずに残ります。とはいえ、復活した正しい人は、命の書から名前を消されないようにするために、忠実を保つ必要があります。

3. 「裁きの復活」とは何ですか。

・S16 死ぬ前に悪いことを行った人たちも、死によって罪は帳消しにされていますが、エホバに忠実ではなかったので、命の書に名前が記されていません。それで、「悪いことを行った人」の復活と、使徒 24 章 15 節に出てくる「正しくない人」の復活は、同じものを表しています。正しくない人は、命の書に名前を記されるのにふさわしいかどうかを判断される、という意味で裁きの復活を経験します。これには時間がかかります。正しくない人は、以前の良くない生き方をやめ、エホバに献身して初めて、命の書に名前を書いてもらうことができます。

[147 番の歌](#) 約束された永遠の命

△ この記事では、[ヨハネ 5 章 28, 29 節](#)にあるイエスの言葉に関する理解の調整を取り上げます。そこには、「命の復活」と「裁きの復活」のことが述べられています。それぞれの復活は何を表しているか、それぞれには誰が関係しているのかを考えます。

△ この書が書き始められたのは、「世が始まつた」時です。この「世」とは、罪から買い戻される人々の世のことです。（[マタ 25:34。啓 17:8](#)）ですから、命の書に最初に名前が記されたのは、アベルだと考えられます。

読者からの質問

どんな人が地上に復活しますか。その人たちほどどんな復活を経験しますか。

聖書は何と述べているでしょうか。

使徒24章15節には、「神が正しい人も正しくない人も復活させてくださる」とあります。正しい人とは、死ぬ前に神に従順だった人で、その人たちの名前は命の書に記されています。（マテ3:16）正しくない人には、エホバについて学ぶ機会が十分にないまま亡くなった人たちが含まれています。その人たちの名前は、命の書に記されていません。

ヨハネ5章28, 29節には、使徒24章15節で述べられているのと同じ、2つのグループが出てきます。イエスはこう言いました。「良いことをした人は命の復活へ、悪いことを行った人は裁きの復活へと出てきます」。正しい人は、生きている間に良いことを行いました。その人たちの名前は命の書に記されているので、命の復活へと出てきます。一方、正しくない人は生きている間に悪いことを行いました。その人たちの名前は、命の書にまだ記されていないので、裁きの復活へと出てきます。その後、観察され、評価されることになります。その期間の間に、エホバについて学び、命の書に名前を記してもらうチャンスが与えられます。

啓示20章12, 13節によると、復活してきた人たちは皆、「数々の巻物に書かれている事柄」、つまり新しい世界で与えられる新しいおきてに従う必要があります。従わない人たちは滅ぼされることになります。（イザ65:20）

ダニエル12章2節の預言によると、死の眠りに就いている人は目を覚まし、「ある人たちは永遠の命を得、ある人たちはとがめられて永久に嫌悪されます」。この聖句は、復活してくる人たちが最終的にどうなるかを述べています。「永遠の命を得[る]」か、「永久に嫌悪され[る]」かのどちらかです。それで、1000年が終わると、ある人たちは永遠の命を得、ある人たちは永遠に滅ぼされるのです。（啓20:15; 21:3, 4）例えで考えてみましょう。復活してくる2つのグループは、外国に移住したいと思っている人と似ています。正しい人は、就労ビザや居住ビザをもらって、ある程度の権利や自由を認められている人のようです。一方、正しくない人は、短期ビザや観光ビザをもらった人のようです。そのような人は、その国にとどまりたいと思う場合、自分がその条件を満たしていることを示す必要があります。同じように、復活してくる正しくない人も、エホバのおきてに従い、パラダイスで生きるための条件を満たしていることを示す必要があります。また、どんなビザで入国したかに関わりなく、市民権を得られる人もいれば、国外追放になる人もいます。この決定は、その国でどんな態度や行動を取ったかに基づいて決まります。同じように、復活してくる全ての人が最終的にどうなるかは、新しい世界でエホバに忠実であるかどうか、どんな行動を取るかに懸かっています。

エホバは、愛の神であるだけでなく、公正の神でもあります。（申32:4、詩33:5）正しい人も正しくない人も復活されることによって、愛を示します。とはいえ、ご自分の善悪の基準に従うことを全ての人に求めます。エホバを愛し、エホバの基準に従って生きる人だけが、新しい世界で永遠の命を与えられるのです。（記事は以上）